

意見書案第 2 号

農畜産物の安全性並びに生産継続のための防疫の
徹底について

別紙のとおり意見書案を提出する。

令和 5 年 6 月 30 日提出

提出者議員	豊岡義博
賛成者議員	石黒武美
〃	木村光宏
〃	武田貞行
〃	大和勝
〃	猪口満雅
〃	山田靖廣
〃	松本一郎

農畜産物の安全性並びに生産継続のための防疫の 徹底に関する意見書

2020年2月から北海道でも新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、政府の新型コロナウイルスの水際対策により外国人の入国制限がなされ3年が経過した。

2019年（令和元年）の訪日外国人旅行者数は、過去最高となる3,188万人（対前年比2.2%増）であり、2年連続3,000万人を突破していた。北海道の観光入込客数（延べ人数）は2019年度の1億4,387万9,900人から2021年度は8,531万1,900人と減少した。昨年10月から水際対策が大幅に緩和され、また、本年5月からは新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが5類感染症となり、外国人観光客も北海道に徐々に戻ってきている。

岩見沢市では、札幌市や新千歳空港に近接しているという好立地条件と、主要幹線道路及び鉄道など恵まれた交通アクセスのもと、総合計画における基本施策の一つとして「地域資源を活かした観光の振興」を掲げ、誘客の促進、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を推進するため、観光振興戦略に基づき、地域の価値や魅力の向上、国内外への情報発信など、具体的な取組を展開しているところである。

こうした取組により交流人口が増加することは望ましいが、一方で、人間の疾病だけに限らず、外部から動植物の病害がもたらされることが懸念される。国、北海道では植物防疫法及び家畜伝染病予防法に基づき、病害虫防除所や家畜衛生保健所を配置し、農畜産物を守る体制が整備されている。また、情報メディアを活用した意識啓発も行われている。

しかしながら、近年、畜産では口蹄疫、豚コレラ、鳥インフルエンザが、農産物では植物寄生性線虫などの発生、その拡大が懸念されており、農業者、農業関係機関のみならず、国民、行政機関、民間企業への意識啓発活動と、その対策を積極的に強化する取組が求められている。過去にこれらの疾病や病害虫の被害で、生産地に甚大な経済被害を及ぼしたケースもあり、農業を基幹産業とする岩見沢市でも生産者の多くに不安の声は絶えない。

については、農畜産物の安全性並びに生産の継続を確保するため、防疫のより一層の強化とその徹底のため、次の措置を講ずるよう強く求める。

記

- 1 空港や特定重要港湾及び重要港湾、JR主要駅、主要バスターミナル設置者に対し消毒マットを設置するなど、防疫対策を講じること。
- 2 防疫の観点から農場への侵入に関する注意喚起を目的とした国民・企業に向けた広報活動を定期的に行うこと。
- 3 ホテル、ゴルフ場、商業施設など旅行者が多く訪れる施設に消毒マットの設置について啓蒙活動を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 5 年 6 月 日

岩見沢市議会

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

農林水産大臣

北海道知事